

「丸の内物流TDM実証実験を踏まえたアピール」

平成14年3月29日
丸の内物流効率化実行委員会

平成14年2月に実施した「丸の内物流TDM実証実験」の成果を踏まえ、丸の内物流効率化実行委員会への参加者は、実験対象地区において、以下の項目に取り組んでいくとともに、来街者、テナント企業等に対しても広く協力を求めていく。

1. 環境対策として

NOxの削減等の環境対策に有効であるCNG車等の環境自動車による配送を継続的に実施していく。

なお、配送車両の総走行台キロ削減の観点から、次の物流効率化対策を併せて講じることとする。

2. 物流効率化対策として

効率的な配送システムの構築を目指して、次の事項を継続的に検討する。

- (1) **ストックポイント、営業拠点等を活用した横持ちの共同化**
- (2) **効率的な縦持ちの共同化**

3. 駐車マネジメント対策として

道路交通の円滑化を推進するため、次の事項を継続的に実施する。

- (1) **実証実験において拡張した地下荷捌きスペースの継続的供用**
- (2) **昇降式もしくは低車高車等による地下荷捌き駐車場使用の継続的实施**
- (3) **ビル正面玄関からの台車搬入禁止の継続的実施**
- (4) **一般車を含めた路上駐車禁止に向けた啓発と誘導**
- (5) **駐車場案内・誘導の検討**

なお、今回の実験を契機に、環境対策・物流効率化対策・駐車マネジメント対策の取り組みが、対象地区を含む大手町・丸の内・有楽町地区に拡大していくことを期待する。

特に、新たに建て替えるビルにおいては、上記の施策が積極的に導入されることを併せて期待する。